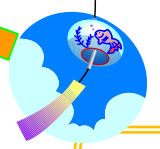


みかん通信



平成25年9月1日 発行

NO.24

みかんの夏の風物詩です

今年も蝉しぐれが聴こえる中、毎年恒例行事となっております「流しそうめん」を行いました。茹で上がったそうめんを利用者皆さんが協力して食べ易い大きさに箸でクルクルと丸め、竹の先から流していきます。「アツ」という間に目の前にそうめんが流れてきますので、瞬きすらできません。自分の前でそうめんをすくわなければと、皆さん一生懸命でした。すくうことに熱心になりお椀の中にそうめんがいっぱいになる人も・・・笑顔あり・笑い声ありの『流しそうめん』でした。



5月に植えた稲から穂が実りはじめました。さらに、3年前に植えたみかんの木にも、たくさんの実が付いています。人の人生と同様実りは多い方がいいですね。



実り多いみかんの庭

クッキングレクリエーション



8月は、流しそうめんの準備・昼食のおかずの盛り付け・おやつのでーナッツ・かき氷作りを行いました。クッキングレクリエーションでは、食べることを通じて利用者さんの自発的な行為・活動を目指していきます。

ラジオの公開参観へ 行きました

八月二十二日(木)、昭島の某企業内で、ラジオの公開参観が行われるという情報を聞き、リハビリを兼ね外出しました。会場に到着すると、毒蝮三太夫さんがレポーターを行う番組の放送中でした。会場では、マイクを向けられ質問をされる利用者の方もいらっしゃいましたが緊張される様子もなく質問に答えていました。最後に毒蝮さんから「みんな元気だね」とエールをいただきました。帰ってきました。

